

ほっとメール



皆さんからのご意見やご要望と、その回答を紹介します。

お願いがあります。

私が住んでいる地区の中学校には、子どもが希望する部活動がないので、その部活動がある中学校に行かせたいと思います。

住んでいる地区に関係なく、自由に学校を選べるようにできないでしょうか。

市長がお答えします。

学校を自由に選べる「学校選択制」は、日光市の実情にはそぐわないと考えています。学校選択制を認めた場合、特定の学校に児童生徒が集中し、地域のきずなを弱めてしまうことや、学校間の格差が生じることなどが懸念されるためです。

したがって、現在の指定校制度を維持しながら、例外的に指定校の変更を認めることとしています。なお、平成19年度からは、部活動の有無による変更も可能になりました。

指定校変更の主な要件は次のとおりです(ただし、変更を希望する学校の定員の範囲内で対応するものとします)。

- ①いじめや不登校が予測される場合
- ②より近距離に別の学校があり、安全に通学できる場合
- ③ほかの中学校に、希望する部活動がある場合
- ④身体の障がいなどにより、指定校への通学が困難な場合

※指定校変更については、教育委員会へご相談ください。

ご意見やご提案、ご要望などをお待ちしています。

あて先 日光市長 齋藤文夫

○手紙 〒321-1292

日光市今市本町1番地

○FAX 0288-21-5545

○Eメール(市ホームページからも送信できます)

hishokouhou@city.nikko.lg.jp

昨年10月に発足！ 大沢地区 自主防災会連絡協議会



昨年10月、大沢地区内(今市地域)の21の自主防災会で組織する「大沢地区自主防災会連絡協議会(小川明雄会長)」が発足しました。

連絡協議会では昨年4月、消防庁が実施している「地域安心安全ステーション整備モデル事業」の選定を受け、防災・防犯資機材を整備しました。整備に当たっては、(財)自治総合センターからの助成を受けました。

さらに今年3月には、市消防職員や女性消防団員の指導のもと、今市消防署大沢分署で行われた防災訓練に参加しました(上写真)。

連絡協議会では今後、各自主防災会の連携を強化しながら、「地域を守る」という目的に向けて一体となり、地域防災力の向上を目指して活動していきます。くわしくは
総務課 行政係 ☎21-5130

思いやりの心を持って 男女共同参画で輝く未来へ

くわしくは 男女共同参画課 ☎(21)5148

男女共同参画社会って、何？

「男女共同参画社会ってなんだか難しそう」、そう思っていないませんか。今回は、男女共同参画社会とはどのようなものか、簡単にお話してみよう。

男女共同参画社会とは、「『女性はあるべき、男性はこうでなければならぬ』といった先入観や偏見にとらわれることなく、男女が互いに尊重し合い、認め合って、一人一人が自分らしく、輝いて生きることのできる社会」のことです。

男だから女だからではなく、一人一人が責任ある人間として自立し、ごく自然に協力し合い、助け合って仕事や家庭生活、社会活動に参加できる社会を目指しています。

また、鯉のぼりやひな祭りなど、日本の古き良き伝統を否定するものではありません。どちらもお子さんの健やかな成長を祝う行事として、みんなで祝ってあげたいものです。

男女が互いに思いやりの心を持ち、支え合って生きていくものです。

